

InDesignのバージョンについて

InDesignは毎年のように新しいバージョンが発表されています。過去のDTPデータを資産として有効に活用していくために、適宜バージョンアップしていくことが必要です。

■InDesignバージョンの現況

近年、ソフトウェアの販売形態として多く採用されるサブスクリプション型。その先駆けとも言えるのがAdobeのCreative Cloudです。年間契約をすることで、Adobeアプリケーションのほとんど（DTPアプリだけでなくPremiereなど映像系も含む）が使い放題になります。CS6以降の全バージョンを自由に使える、さらに最新のバージョンもいち早く試することができるといったことも魅力で、過去に制作したコンテンツを再版、またはデータ流用することが多い出版業界では、パッケージ購入からの切り替えが一気に進みました。

ところが、2019年5月「Adobeが認めた最新版に近いバージョンだけが使える」というルールへの方針変更が発表されました。InDesignに関しては、現在では上位3バージョンしかインストールができないようになっていきます。

InDesignファイルは、作成されたバージョンと異なるバージョンで開いた場合、組版エンジンの仕様の違いや新たに追加された機能の影響により、文字組の変

化やレイアウトの崩れが起きることがあります。こういった理由から、InDesignは上位バージョンでのデータの読み込みは保証されていますが、出力結果が同一であることは保証されていません。そのため、DTPデータは作成したバージョンで作業することが一番安全と言えますが、上述のようなAdobeの方針転換により、過去データのバージョンアップは不可避となっています。

下表は、2019年11月時点での当社の対応状況です。InDesignのそれぞれのバージョンは、作業可能なOSが限られています。特にCS6以前については使用できるMacOSがリリースからすでに年月が経っているため、マシンの老朽化を考えると、元のバージョンのまま作業するための環境を確保することが困難になってきています。また古い作業環境下では、PDF書き出しの際にエラーが出るなど、新たな不具合が発生しやすいこともわかっています。

効率的で安全な作業を行うためにも、現在のOSに合わせてInDesignファイルのバージョンを上げる必要があります。

InDesignの各バージョン対応OS一覧

商品名 (通称)	正式バージョン名	対応MacOS	作業可否	バージョンアップ
InDesign Ver1.0	Ver.1.x	OS8.6~OS9.2	作業不可	必須
InDesign Ver2.0	Ver.2.x	OS9.1~OS9.2、10.1 (Puma)		
InDesign CS	Ver.3.x	10.2 (Jaguar) ~10.4 (Tiger)		
InDesign CS2	Ver.4.x	10.2 (Jaguar) ~10.4 (Tiger)	作業可能だが 非効率	
InDesign CS3	Ver.5.x	10.4 (Tiger) ~10.5 (Leopard)		
InDesign CS4	Ver.6.x	10.4 (Tiger) ~10.6 (Snow Leopard)		
InDesign CS5	Ver.7.x	10.5 (Leopard) ~10.6 (Snow Leopard)、10.8 (Mountain Lion)	作業可能	強く推奨
InDesign CS5.5	Ver.7.5.x	10.5 (Leopard) ~10.6 (Snow Leopard)、10.8 (Mountain Lion)		
InDesign CS6	Ver.8.x	10.6 (Snow Leopard) ~10.9 (Mavericks)		作業可能
InDesign CC	Ver.9.x	10.6 (Snow Leopard) ~10.9 (Mavericks)		
InDesign CC2014	Ver.10.x	10.7 (Lion) ~10.10 (Yosemite)		
InDesign CC2015	Ver.11.x	10.9 (Mavericks) ~10.11 (El Capitan)		
InDesign CC2017	Ver.12.x	10.10 (Yosemite) ~10.12 (Sierra)		
InDesign CC2018	Ver.13.x	10.11 (El Capitan) ~10.13 (High Sierra)		
InDesign CC2019	Ver.14.x	10.12 (Sierra) ~10.14 (Mojave)		

■バージョンを上げることによるトラブル

InDesignのバージョンを上げる場合、CC以降のバージョン内では当社の経験上大きな崩れは発生しないようです。しかし、CS以前のファイルのバージョンアップには注意が必要で、特にCS5で大きな機能強化が図られた影響で、CS4以前からのバージョンアップには様々な危険が伴います。そのうち特徴的な2点を紹介します。

①角Rオブジェクトの設定の変化

CS5より角丸の設定の仕様が変わり、角を個別に設定ができるようになりました。これが原因となり、CS4以前のデータをCS5以降で開くと角Rの設定値に不具合が生じることがあります（図①）。

②異体字属性の伝染

CS4以前のデータからCS5以降にバージョンアップする際に一部の文字が化けてしまうことがあります。これは「異体字属性の伝染」と言われるInDesignのバグによるものです（図②）。このバグについては、チェック用のツールが開発されています。当社では、CS4以前のデータをCS5以降へバージョンアップする際、必ずこのツールを用いてチェックすることをルール化しています。

■バージョンアップの工程

バージョンアップは書籍の改訂に先立って実施されることが一般的ですが、それは次のような工程で行われます。

まず、InDesignドキュメントを制作された時のバージョンで開き、全ページのPDFを書き出しておきます。その後、すべてのデータのバージョンアップ作業を行います。その際に、前述の不具合等の発生をチェックし修正していきます。バージョンアップ完了後に再度PDFを書き出し、デジタル検版機による検査を行います。新旧バージョンの上げ幅が大きい場合は、一旦中間バージョンに上げ、さらに同じ作業工程を繰り返します。

お客様へは、バージョンを上げた段階で一度校正ゲラを出校いたします。レイアウトの崩れの状態などをご自身でも確認いただきつつ、改訂用の赤字を入れていただき、その後の作業を進めていきます。

当社はこれまで数多くの作業実績があり、その経験とデジタル検査により精度の高く安全なバージョンアップが可能です。過去のコンテンツ資産をより長く活用するためにも、適宜バージョンアップを行うことをお勧めいたします。

図① 角丸オブジェクトの設定の変化



図② 異体字属性の伝染

CS4 までの正常な文字表示

|| · · # ☆ ★ 啞 圧 扱 茨 嘘 噂 映 榮 穎 円 園 焰 菌 靴 柏 敢 還 鑑 陷 頑 顔 願 危 奇 祈 祇 吉 砧 却 虐 逆 啓 契 桂 擊 隙 儉 券 研 遣 顯 戸 鈷 顧 吳 倖 恒 昂 晃 柁 授 衆 獸 術 所 暑 商 嘗 祥 肖 鞞 冗 剩 場 囑 職 蝕 唇 栓 選 遷 善 全 禪 祖 掃 送 藏 造 即 卒 村 墮 舵 橈 陀 堤 碇 艇 遁 的 堵 途 唐 塘 桃 禱 朽 葭 噸 頓 吞 內 灘 栳

CS5 以降で開くと文字化けする

＝：キ★☆☆啞壓扱茨嘘噂映榮穎圓菌焰園靴柏敢還鑑陷頑顔願危奇祈祇吉砧却虐逆啓契樁擊隙儉券研遣顯戸鈷顧吳幸恆昂眺柁授衆獸術所暑商嘗祥肖鞞冗剩場囑職蝕唇栓選遷善全禪祖掃送藏造即卒邨墮舵橈陀堤碇艇遁的堵途唐塘桃禱朽葭噸頓吞內灘栳

◀CS1~4では正常に表示されていた文字がCS5以上で開くと文字化けしてしまいます。これはInDesignのバグであり、専用のツールを使用したチェックが不可欠です。